



陶芸家3人 作品を永年保存

故伊村さん、林さん、松永さん

東濃信用金庫(多治見市本町)の「美濃陶芸作品永年保存事業」の本年度選定作品が7日、同市虎渓山町のとつしん学びの丘エールで発表された。瑞浪市に活動拠点を置いていた故伊村彰介さん、林恭助さん(60)＝土岐市泉町＝、松永圭太さん(36)＝土岐市下石町＝の作品が選出された。

(稲木悠司)

林さんの「耀変流光彩大鉢」は、日本伝統工芸展で奨励賞を受けた作品。失われた技術の「曜変天目」の復元研究の成果で美しい色彩と質感を生み出した。とつしん美濃陶芸美術館の

永年保存作品に選ばれた(右から)故伊村彰介さん、林恭助さん、松永圭太さんの作品。多治見市虎渓山町、とつしん学びの丘エール

東濃信金が購入、美術館に展示

金子賢治館長は「実物を細かく解析し、新しい表現を取り入れた素晴らしい作品」と評価した。

松永さんの「蛻」は美濃焼の原土を用いた造形作品。松永さんは「中にいたものが飛び立った後の痕跡や内圧を感じさせられたら」と語った。金子館長は「松永さんの創作歴だけでなく日本の現代陶芸を代表する作品だ」と話した。

故伊村さんの作品は「黒織部茶盃」、「伊賀耳付水指」、「伊賀肩衝茶入」と「織部黒茶盃」。伝統的な織部を追求した伊村さんを代表する作品群を選んだ。

同事業は推進委員会が永年保存作品を選び、同金庫が買い上げる取り組み。1987年度から毎年続き、本年度分を加え計115点となった。4月5日から同館で展示される。